学校向け実態調査【調査票】

小学校用

œ
校月
雂
-

※実際には WEB 上で実施

、調査
7-1
Ÿ
175
番いる
対対
7
77
グイ
148
おけ
を校に
令

1.基本情報

问1.こ凹合ごれにカの役職を教え(ください。	
1.校長	· 校長
2. 副校長·教頭	
3.指導教諭	
4.教諭	
5.養護教諭	
6.スクールソーシャルワーカー(SSW)	
7.スクールカウンセラー(SC)	
8.その色(

(21 市町から選択)

問2.貴校の所在地を選択してください。

問3.小学6年生の在籍者数を入力してください。※令和5年5月1日現在

(数値を入力)

2.ヤングケアラーについて

1. 言葉を知らない →問7へ

問4.貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない →問7へ

言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない →問7へ

言葉を知っており、学校として意識して対応している →問5へ

問5.貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

1. 把握している →問6へ

「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない →問7へ
該当する子どもはいない(これまでもいなかった) →問7へ

該当する子どもはいない(これまでもいなかった) →問7へ

問6.貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している 1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている

問7.現在、貴校にヤングケアラーと思われる(可能性含む)子どもはいますか。

※セングケアラーの定義及び状態像について

ヤングケアラーたちは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていること により、学べない、やりたいことができないなど、「子どもの権利」が守られない可能性があり、適切な支援が

1.いる →問8へ	2.いない →問13ヘ	3 むからない

必要です。

問8.ヤングケアラーと思われる子どもの状況は次のうちどれですか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている
2.家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3.家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4.目の離せない家族の見守りや声掛けをしている
5.家族の通訳をしている(日本語や手話など)
6.アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
7.病気の家族の看病をしている
8. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
9. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
10.その街(

間9.ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある →問9-1〜

2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースが

3. 外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している) →問9-3へ

問9-1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースについて、該当する直近のケースを教えてください。

(1) 性別を選択してください

3.その他 2. 男性

(2) 学年を選択してください。

5. 小学5年生 |. 小学|年生 2. 小学2年生 4. 小学4年生

6. 小学6年生

169

小学校用																																				
(14) ― ク イレネ ※ 串ケーケニター (14)	(シ)~4 ノノ なかせいいがつくごががほばかいいいが、※あてはまる番号すべてを選択	1. 高龄(65歳以上)	2. 幼い	3. 要介護(介護が必要な状態)	4. 認知症	5. 身体障がい	6. 知的障がい	7.精神疾患(疑い含む)	8. 依存症(疑い含む)	9.7,8以外の病気	10.日本語を第一言語としない	1.40色(12.わからない	(5)-3 ケアの内容を選択してください。	※あてはまる番号すべてを選択	1.家事(食事の準備や掃除、洗濯)	2.きょうだいの世話や保育所等への送迎など	3.身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	4.外出の付き添い(買い物、散歩など)	5. 病院の付き添い	6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	7. 見守り - 2 済む (ロナおひチがた)	の、四郎ハコや四ハナ四・6つ) は一分は作曲 は一分は作曲	,引叉电子 	1.40色(12.わからない	これをアプルギャニン キーヨナ・エノルン エアして パン	(6)イノクケケケーと気付いて年田・さつかりを教えてください。※4十智法					J	(7)要保護児童対策地域協議会への通告ルートを選択してください。	1. 市町教育委員会経由	
小学校用)) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					^						-									
(2) 女子のボラボー学術(2)	3) ナ校王でひたれる無いこへんご。 ※あてはまる番号すべてを選択	1. 学校を休みがちである	2. 遅刻や早退が多い	3.保健室で過ごしていることが多い	4. 精神的な不安定さがある	5. 身だしなみが整っていない	6. 学力が低下している	7.宿題や持ち物の忘れ物が多い	8.保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	9. 学校に必要なものを用意してもらえない	10.修学旅行や宿泊行事を欠席する	11.校納金の納付が遅れる、未払い	12.その句((4) 家族構成を選択してください。	※あてはまる番号すべてを選択	. 母親	2. 父親	3. 祖母	4.祖父	5.きょうだい	6.40街(「こかかがそれしそうごかきあった、キャメ	ン 冬気 ここ / シングかんの 10年 0 い、みょる。 - + → ホン → (万) – → 3 か回 対 レイガネン	- 144.7 (人) - 0.8 国団の (人)です。 - 147.3 → (人) 人		(5)-1 ケアを必要としている人はどなたですか。	※あてはまる番号すべてを選択	- 一、 中紀 つ 今 年 つ ぐ 幸	5. 人机3. 油母	4. 祖父	5. きょうだい	6.その他(

小学校用

г	1
Ψ.	
×	
ũ	
<u>"</u> "	

8) 学校が行った支援等 (要対協との連携も含めて)を教えてください。	
※自由記述	(4)家族構成を選択してください。
	※あてはまる番号すべてを選択
	一 中 母親
	2. 父親
	3. 祖母
	4.祖父
	5.きょうだい
9) 支援した結果、子どもへの変化について教えてください。	6.40街(
》(中国的记录),一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	、これはようてもそうだかきあって、キャイ
	(3) 冬葉(0) / りりかぶる台灣つて、みょう。
	. は、 (5)— ~3を回合し(人ごい。
	2.いいえ ラ(6)ヘ
	(凡)ー ケレを必要アーレンペイコンなセデュセン
	(1) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
19-2. 学校以外の外部の支援につないだケースについて、該当する直近のケースを教えてください。	
一、一、「一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	2. 次第
- - - - - - - - - -	中央で
	かせい
규 는 사 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
3. ての市	(12//ささ)の (大)
2) 学年を選択してください。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.小学1年生	(5)-2 ケアを必要としている人の状況を選択してください。
2. 小学2年生	※あてはまる番号すべてを選択
3. 小学3年生	卓鬱(65憲以上)
4. 小学4年生	7.44x
5. 小学5年生	1.3. 二乙、 国人權(人權人) 是一人, 因人權(人權人) 是一人,
	いなこのと、マスランジンの選手を
	1, no 2, larger 1, no 1, larger 1, l
2)を存在するではないなった。	つ. 女子 南かい
。	、 ハロ li
※か (ほまる番号りへ (と選択	7.精神疾患(疑い含む)
1. 学校を休みがちである	8. 依存症(疑い含む)
2. 遅刻や早退が多い	9.7,8以外の病気
3.保健室で過ごしていることが多い	10. 日本語を第一言語としない
4. 精神的な不安定さがある	二. かのも(
5. 身だしなみが整っていない	12. わかない
6. 学力が低下している	
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い	
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	
9. 学校に必要なものを用意してもらえない	
10. 修学旅行や宿泊行事を欠席する	
1. 核物金の物付が遅れる、未払い	
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	

小子农用	
(5) —3 ケアの内容を選択してください。 ※+ * = ロード・ナー *** = 1	(10) 支援した結果、子どもへの変化について教えてください。 、ケムセコン
※のくはよる省ちりへくを残れ 1.家事(食事の準備や掃除、洗濯)	近月 田 日 次
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など	
3.身体的な小護(入浴やトイレのむ世話など)	
4.外出の付き添い(買い物、散歩など)	
5. 病院の付き添い / ***********************************	
0. 終言国シブルート(秘名と国)、出し石中(14の4.7)	このアインディー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7. 見守リ 8 油割 (ロ本潜み生津だい)	問9-3.外野の支援にしないていない(学校内で対応している)ケースにしいて教えてください。(二、冬生6十海にしたまだも、1ヶ苗も参彰レノだない
0. 短ぎ/(は今間 / も間 * に) 8. 全銭管理 9. 金銭管理	(1) 7 中ツス域に、5 45 つい生田られた、2、5、8 ※自由記述
10. 薬の御曲	
11.40句(
12.77%54.	
(6)ヤングケアラーと気付いた理由・きっかけを教えてください。 ※カーコン	
※自由記述	
	(1)外部の支援につながなかったケースについて、どのように対応しているか教えてください。 ※自由記述
(7)つないた機関について教えてください。	
※自由記述	
	問10.ヤングケアラーの把握や支援に当たってエ夫していることや気を付けていることを教えてください
	※自由記述
(8)外部機関へのつなぎ方を選択してください。	
1. 市町教育委員会経由	
2. 学校から直接連絡	問11.セングケアラーの把握に当たって難しいと感じることを教えてください。
3.40句(深足甲阜※ /
(9)学校が行った支援等(要対協との連携も含めて)を教えてください。 ※自由記述	
	J
J	

問12. ヤングケアラーと思われる子どもがいるかがわからない理由を教えてください。

※あてはまる番号すべてを選択

2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が 1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している 後回しになる

3.家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい

4.ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない

5.その他(

問13.ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。

1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること

3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること 2. 教職員がヤングケアラーについて知ること

4. SSW や SC などの専門職の配置が充実すること

6.ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること 5. 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること

7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること

8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること

9.ヤングケアラーを支援する NPO などの団体が増えること 10.福祉と教育の連携を進めること(下欄に具体的に記入)

11. 40街(

問14.ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

※自由記述

卜調査
ンケー
見するア
対応に関
-\9¥
ングケアラ-
Σ.
こおける
・高等学校における
校·高
教育学
学校·中等教育学校
中学

への対応に関するアンケート調査	※実際には WEB 上で実施
校・高等学校におけるヤングケアラー	
中学校·中等教育学校·高	

1.基本情報	問1.ご回答された方の役職を教えてください。

6. スクールソーシャルワーカー(SSW) 7.スクールカウンセラー(SC) 2. 副校長·教頭 5.養護教諭 3. 指導教諭 8.40句(4. 教諭

問2.貴校の学校区分を教えてください。

|. 中学校(義務教育学校 後期課程を含む) 7. 高等学校(定時制·通信制 併設) 5. 高等学校(全日制·定時制 併設) 6. 高等学校(全日制·通信制 併設) 3. 高等学校(全日制) 4. 高等学校(定時制) 2. 中等教育学校

問2-1. (問2で3~8と回答された方)単位制の有無を選択してください。

2. 一部あり 3.なし 1.20

問3.貴校の所在地を選択してください。

(21 市町から選択)

問4.生徒の在籍者数を入力してください。

※令和5年5月1日現在

※通信制については県内在住の生徒の在籍者数をお答えください。

(数値を入力)

2.ヤングケアラーについて

問5.貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

- 1. 言葉を知らない →問8へ
- 2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない →問8へ
- 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない →問8へ
- 言葉を知っており、学校として意識して対応している →問6へ

中学・高校用

問6.貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

1. 把握している →問7へ

- 2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない →問8へ
- 該当する子どもはいない(これまでもいなかった) →問8^

問7.貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている

2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している

問8.現在、貴校にヤングケアラーと思われる(可能性含む) 子どもはいますか。

※ヤングケアラーの定義及び状態像について

により、学べない、やりたいことができないなど、「子どもの権利」が守られない可能性があり、適切な支援が ヤングケアラーたちは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていること

2.いない →問14へ |.いる →問9ヘ

3.わからない →問13へ

問9.ヤングケアラーと思われる子どもの状況は次のうちどれてすか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている

2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている

3.家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている

4.目の離せない家族の見守りや声掛けをしている

5.家族の通訳をしている(日本語や手話など)

6.アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している

7. 病気の家族の看病をしている

9. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている 8. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

10.40街(

問10.ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある →問10−1へ

2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースが

外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している) →問10-3~

問10-1.要保護児童対策地域協議会に通告したケースについて、該当する直近のケースを教えてください。

(1)性別を選択してください。

1.女性

3.その他

8. 高等学校(全日制·専攻科 併設)

(2)学年を選択してください。

1. 中学 | 年生

(5)-| ケアを必要としている人はどなたですか。

8.保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い 9. 学校に必要なものを用意してもらえない 1.はい →(5)-1~3を回答してください。 (5)家庭でのケアの状況を把握していますか。 10. 修学旅行や宿泊行事を欠席する 11.校納金の納付が遅れる、未払い (3)学校生活の状況を選択してください。 3.保健室で過ごしていることが多い 7.宿題や持ち物の忘れ物が多い 10. 部活を途中で辞めてしまった ※あてはまる番号すべてを選択 ※あてはまる番号すべてを選択 5. 身だしなみが整っていない (4)家族構成を選択してください。 4.精神的な不安定さがある 1. 学校を休みがちである 6. 学力が低下している 2. 遅刻や早退が多い 12.中等教育5年生 11. 中等教育4年生 10. 中等教育3年生 13.中等教育6年生 2.いいえ →(6)~ 8. 中等教育 | 年生 9. 中等教育2年生 5. 高校2年生 3. 中学3年生 4. 高校1年生 6. 高校3年生 7. 高校4年生 2. 中学2年生 5.きょうだい 12.その他(6.その他(3. 祖母 2. 父親 1. 母親 4.祖父

6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) (5)-2 ケアを必要としている人の状況を選択してください。 2.きょうだいの世話や保育所等への送迎など 3.身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) 4. 外出の付き添い(買い物、散歩など) (5)-3 ケアの内容を選択してください。 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) 3. 要介護 (介護が必要な状態) 10. 日本語を第一言語としない ※あてはまる番号すべてを選択 ※あてはまる番号すべてを選択 ※あてはまる番号すべてを選択 8. 通訳(日本語や手話など) 7.精神疾患(疑い含む) 8. 依存症(疑い含む) 1. 高齡 (65歳以上) 9.7,8以外の病気 5.病院の付き添い 5.身体障がい 12.わからない 12.わからない 6. 知的障がい 10.薬の管理 ||. 40句(||. 40街(5.きょうだい 9. 金銭管理 7. 見守り 6.その他(4. 認知症 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 2.約い 1. 母親

中学・高校用 8.保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い 9. 学校に必要なものを用意してもらえない (3)学校生活の状況を選択してください。 10. 修学旅行や宿泊行事を欠席する 11.校納金の納付が遅れる、未払い 3.保健室で過ごしていることが多い 7.宿題や持ち物の忘れ物が多い 10. 部活を途中で辞めてしまった ※あてはまる番号すべてを選択 5. 身だしなみが整っていない (4)家族構成を選択してください。 ※あてはまる番号すべてを選択 4.精神的な不安定さがある 1. 学校を休みがちである (2) 学年を選択してください。 6.学力が低下している 2. 遅刻や早退が多い 12.中等教育5年生 10. 中等教育3年生 11. 中等教育4年生 13.中等教育6年生 8.中等教育1年生 9. 中等教育2年生 6. 高校3年生 7. 高校4年生 1.中学|年生 3. 中学3年生 4. 高校 | 年生 5. 高校2年生 2. 中学2年生 12.その他(1. 母親 問10-2.学校以外の外部の支援につないだケースについて、該当する直近のケースを教えてください。 (8)学校が行った支援等(要対協との連携も含めて)を教えてください。 (7)要保護児童対策地域協議会への通告ルートを選択してください。 (6)ヤングケアラーと気付いた理由・きっかけを教えてください。 (9) 支援した結果、子どもへの変化について教えてください。 (1)性別を選択してください。 1. 市町教育委員会経由 2. 学校から直接連絡 ※自由記述 ※自由記述 ※自由記述 3.その他(3.その他 1.女性 2.男性

|.はい →(5)-|~3を回答してください。 (5)家庭でのケアの状況を把握していますか。 2.いいえ →(6)~ 5.きょうだい 6.その他(2. 父親 3. 祖母 4.祖父

(6) ヤングケアラーと気付いた理由・きっかけを教えてください。

※自由記述

(5)-1 ケアを必要としている人はどなたですか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父

5.きょうだい

6.その他(

(5)-2 ケアを必要としている人の状況を選択してください。

(7) つないだ機関について教えてください。

※自由記述

※あてはまる番号すべてを選択

1. 高齡 (65歳以上)

3. 要介護(介護が必要な状態)

4. 認知症

5.身体障がい 6.知的障がい

7.精神疾患(疑い含む)

8. 依存症(疑い含む)

9.7,8以外の病気

10.日本語を第一言語としない

11.その他(12.わからない

(9)学校が行った支援等(要対協との連携も含めて)を教えてください。

※自由記述

(8)外部機関へのつなぎ方を選択してください。

1. 市町教育委員会経由2. 学校から直接連絡

3.その他(

(5)-3 ケアの内容を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択 1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯)

2.きょうだいの世話や保育所等への送迎など

3.身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)

う:3 トトーロンをプロg (ンンイロ / 1 ト ンンイ3 トーロヒ 4.外出の付き添い(買い物、散歩など)

(10)支援した結果、子どもへの変化について教えてください。

※自由記述

5.病院の付き添い

6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)

7. 見守り

8. 通訳(日本語や手話など)

9. 金銭管理

10.薬の管理

||.その他(|2.わからない

問10-3. 外部の支援につないていない(学校内で対応している)ケースについて教えてください。

(1)外部の支援につながなかった理由を教えてください。 ※自由記述

問13. ヤングケアラーと思われる子どもがいるかがわからない理由を教えてください。 (2)外部の支援につながなかったケースについて、どのように対応しているか教えてください。

※自由記述

問11.セングケアラーの把握や支援に当たってエ夫していることや気を付けていることを教えてください。

※自由記述

問12.ヤングケアラーの把握に当たって難しいと感じることを教えてください。

※自由記述

問14.ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。 1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること

4.ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない

3.家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい

後回しになる

5.その他(

2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が 1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している

※あてはまる番号すべてを選択

3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること 2. 教職員がヤングケアラーについて知ること

4. SSW や SC などの専門職の配置が充実すること

6.ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること 5.子どもが教員に相談しやすい関係をつくること

7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること 8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること

10.福祉と教育の連携を進めること(下欄に具体的に記人) 9. ヤングケアラーを支援する NPO などの団体が増えること

問15.ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

※自由記述

11.40色(

学校向けヤングケアラー実態調査結果 (概要版)

令和5年10月

学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版)

◆ 調査目的

ヤングケアラーに関する学校の状況やニーズ等を把握し、支援を必要としているヤングケアラーの早期発見や適切な支援につなげる方策を検討する。

- ◆ 実施時期 令和5年8月10日~9月19日
- ◆ 調査方法 WEB
- ◆ 調査対象 下表のとおり

	対象校数 (A)	回答数 (B)	【参考】 B/A ※
公立小学校	311	303	97.4%
公立中学校 (中等教育学校·義務教育学校後期課程含む)	168	158	94.0%
公立高等学校 (全日制·定時制)	65	52	80.0%
合計	544	513	94.3%

※同一校から複数回答の可能性があるため、参考として記載

学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版) ①ヤングケアラーの認知度 ②ヤングケアラーと思われる子どもの有無

- ① ヤングケアラーという言葉を知っていると回答した割合は全学校種でほぼ100%である。
- ② ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した割合は小学校、中学校、高校の順に高くなっている。

①ヤングケアラーの概念の認識

(%) ②ヤングケアラーと思われる子どもの有無(%)

	調査数(n)	言葉を知らない	具体的には知らない言葉は聞いたことがあるが、	いしては特別な対応をしていな言葉は知っているが、学校と	て意識して対応している言葉を知っており、学校とし
小学校	303	0.0	1.0	18.8	80.2
中学校	158	0.0	3.8	15.8	80.4
高等学校	52	0.0	0.0	11.5	88.5

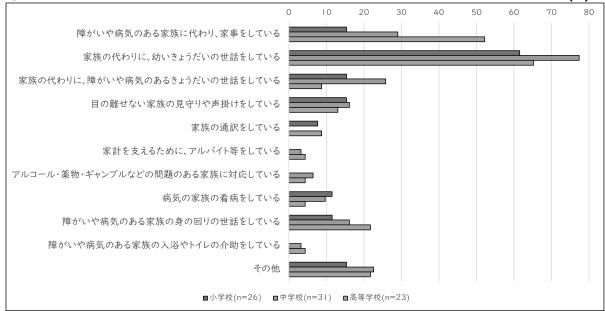
	調査数(n)	17a	いない	わからない
小学校	303	8.6	83.5	7.9
中学校	158	19.6	63.9	16.5
高等学校	52	44.2	48.1	7.7

学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版) ③ヤングケアラーと思われる子どもの状況

③ ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校での子どもの状況としては、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が最も高い。また、高校では「障がいや病気のある家族に代わり、家事をしている」が小学校・中学校と比較して高くなっている。

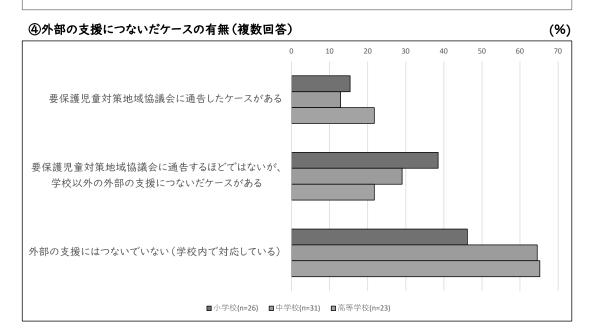
③ヤングケアラーと思われる子どもの状況(複数回答)

(%)



学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版) ④外部の支援につないだケースの有無

④ ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校で、要保護児童対策地域協議会への通告のほか、何らかの外部の支援につないだケースの有無については、「外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している)」が最も多かった。



学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版) ⑤ヤングケアラーの支援のために必要だと思うこと

⑤ ヤングケアラーの支援のために必要だと思うことについては、「子ども自身/教職員がヤングケアラーについて知ること」「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」が多かった。また、高校においては「SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること」も多くなっている。

